



令和3年度学校だより4月号

# 東の風光る

新1年生特別号

歴史と文教の城下町 たかなへ

## 高鍋町立高鍋東中学校

Municipal Takanahe East Junior High School

自立の精神に燃え、広く敬愛する心を持ち、たくましい創造力を発揮する生徒の育成



### 風光る

春になり、日の光がまぶしく感じられるようになると、そよそよと吹く風も、何とはなしに明るく光るものに思える。風光る・心のはずみさえ覚える季節のことばです。高鍋東中生には大いに光り輝いてほしいと願っています。



### 入学式 中学生活のスタート

9日入学式、いよいよ中学生としての生活がスタートしました。新1年生が元気よく本日登校してきました。校庭に命名されている「希望の道」「青春の道」を通る生徒たちの真新しい姿に喜びを感じたところでした。

104名の皆さん入学おめでとうございます！！私たち教職員がしっかり一人一人を支援していきます。

入学式では、代表の君が誓いの言葉を堂々と述べてくれました。その内容をご紹介します。

「誓いの言葉」

太陽の光が満ちあふれ、命が生き生きと活動を始める春。私たち新入生104名は、この伝統ある高鍋東中学校に入学します。

本日は未曾有の災禍の中にもかかわらず、このような立派な入学式を行っていただき大変感謝しています。

使い慣れたランドセルではなく、新しい学生鞆となり、私服ではなく新しい制服に身を包んで登校していると、中学生になることを実感するとともに身が引き締まります。

新入生説明会では、返事、挨拶、意思表示の三つができることが大切であると教わりました。「はいっ」という謙虚な気持ち、「先出し挨拶」という相手を敬う気持ち、「私はこう考えます」という積極的な気持ちを大切にしたいと思います。

また、勉強や学校行事、部活動にも一生懸命に取り組む先輩方がいらっしゃる高鍋東中学校のよいところをたくさん取り入れて、自分で考え行動することができるよう、自分自身を向上させていきたいと思えます。そして「新明倫の教え」にもあるように、志を高く、学業を修め、自分の良さを生かします。

これから始まる中学校生活の中で、校長先生をはじめ先生方、先輩方、保護者の皆様、地域の皆様に、まだまだ未熟な私たちはご迷惑をおかけすることもあると思えます。時には厳しく、時には温かくご指導くださいますようよろしくお願いたします。

私たち、新入生一同は、伝統ある高鍋東中学校の生徒としての誇りをもち、今日の決意を忘れることなく、日々精進することをここに誓います。 令和3年4月9日



入学式の準備の様子 2年生・3年生・職員も師弟同行で、新入生の笑顔を思い浮かべ準備をしました！

### 学校とは何をすることでしょか・・・

「学校＝教育」のもともとの目的は何でしょうか。「勉強」「人間関係づくり」「部活動」、人それぞれ考えることはあるでしょうが、もともとの教育の目的は学力とかスポーツの能力を高めることではなく、その人間の人間としての力を上げること、「教育は人格の完成をめざす」ものです。その手段として授業を受けたり、係活動をしたり、部活動をしたりしているに過ぎないのです。

私たちは「心の教育」が一番大切であって、そのために勉強や部活動などを行っているということです。本来の目的をお互いしっかり意識していくことが大切だと思います。

### なぜ学校で学ぶ必要があるのか？

～学校・教師の存在価値を考える～

学校は子どもたちにとって伸び伸びと過ごせる楽しい場ではなければならない。

子どもたちが自分の興味・関心のあることにじっくり取り組めるゆとりがなければならない。

分かりやすい授業が展開され、分からないことが自然に分からないと言え、学習につまずいたり、試行錯誤したりすることが当然のこととして受け入れられる学校でなければならない。

その基盤として、子どもたちの好ましい人間関係や子どもたちと教師との信頼関係が確立し、学級の雰囲気も温かく、子どもたちが安心して自分の力を発揮できるような場ではなければならない。

このような教育環境の中で、教科の授業だけでなく、学校のすべての生活を通して、自分がかげがえのない一人の人間として大切にされ、頼りにされていることを実感できるようにしなければならない。

以上は、以前、教育課程審議会から出された答申の言葉です。これを共通のものとして、これからの1年取り組んでいきたいと考えています。



多くの祝詞をいただいています！！

【後記】学校の基本的な考えを示していくことも大きな通信の役目だと考えていますので、今回、第1号ということで、堅苦しい内容もある通信となってしまいました・・・。（校長）